

企業から見た インターンシップ

「理系の素養は社会でどう生きるのか」
インターンシップで見えてくる仕事の現場



「理系の素養を活かせる仕事をしたい」と考えている理系学生向けのインターンシップを実施しているのが、「大学、研究機関と実業界をブリッジするデザイン&エンジニアリング企業」を標榜している株式会社構造計画研究所（以下、KKE）だ。同社は建築・防災、製造、情報・通信、意思決定といった幅広い領域で工学的知見を活かし、あらゆる社会課題の解決に取り組んでいる。リクルート室所属 山崎陽氏にKKEのインターンシッププログラムについて聞いた。

理系の素養はビジネスでどう活かせるのか

社会のあらゆる問題を解決し、「次世代の社会構築・制度設計」の促進に挑んでいるKKE。同社の事業領域は非常に広く、建築物の構造設計や耐震評価、災害時の避難シミュレーション、電磁界解析コンサルティング、製造業のプロセス改善支援など、ソリューションの提供領域は多岐にわたる。そのビジネスの中枢を担っているのが、各領域の専門性を有した『エンジニアリングコンサルタント』だ。同職のミッションは専門性を深化させ、研究、技術開発、コンサルティング、実装など幅広い領域をカバーし、お客様に「解」を提供すること。顧客の課題に応じて用いる技術を選び、時には組み合わせるなど、カスタマイズしたソリューションを届けているのが特徴だ。大学との共同研究や論文執筆を行っている所員もあり、最先端の工学知を積極的に取り込んで社会に還元もしている。

「社名も仕事内容もあまり知られていませんが、知的で面白い仕事に取り組んでいる会社です。そうした面白さやワクワク感は言葉では伝わりづらいので、実際に体感できる場を提供したいという思いでインターンシップを企画しています。一方、当社の事業内容が多岐にわたるため、学生が具体的な仕事内容をイメージしにくい実情もあります。インターンシップへの参加を通じて、具体的な仕事内容や働き方のイメージを持ってもらえたら嬉しいですね」（山崎氏、以下同）

建築、防災、製造、通信、意思決定、IoTなど約20テーマのプログラムを実施

KKEが実施しているのは、2週間の長期サマーインターンシップと、夏季と冬季に実施している短期インターンシップだ。グループワークがメインの短期インターンシップは1〜2日程度なので多忙な理系学生でも参加しやすいが、「都合がつくのであれば実際の仕事をリアルに体験できる長期インターンシップには是非参加してほしい」と山崎氏は語る。

「長期インターンシップは、建築、防災、製造、通信、意思決定、IoTといった様々な領域のテーマがあるので、興味のあるものを見つけてほしいですね。すべてのプログラムに共通するのは、お客様が抱えている課題をKKEが持つ工学知を活用し、いかにして解決に導くかということ。業務体験を通じて、理系の専門性や素養を活かして社会に貢献できるという手応えを得られるはずですよ」

昨年実施されたデータ分析や統計解析、機械学習などの知識を活かせるテーマでは、消費者データをもとに行動をモデル化し、広告が消費行動に与える影響を定量的に分析することで適切なマーケティング戦略の提案に挑んだ。その他にもIoT関連のテーマでは、工場の製造機械のセンサーデータを機械学習し、その異常検知・予測に取り組みプログラムも行われた。製造領域では粒子法シミュレーションを用いて「高粘性流体の攪拌解析」を実施。流体解析などの知識を活かして混合性能や所用動力を評価し、食品製造現場でより最適な攪拌を行うための装置形状や運転

条件の提案に取り組んだ。また、建築領域では、「建築×システム」をテーマに建築やシステム開発に対する興味や関心があれば参加できるプログラムを実施。参加者は仮想クライアントに対して住宅設計システムの要件定義から機能設計、開発まで一連のプロセスを体験したという。

「私達はインターンシップを通じて、「それぞれの学生がやりたいことを体験できる場を提供したい」

長期インターンシップのテーマ例

- 1 建築×システムとは「建築の工学知を活かしたシステム開発に迫る」
[歓迎する専攻・知識] 建築、システム開発への興味があれば
全学部・学科を歓迎
- 2 粒子法シミュレーションを活用した設計、研究開発支援
[歓迎する専攻・知識] 流体力学、数値解析
- 3 データ分析技術を使った顧客課題の解決・コンサルティング業務体験
[歓迎する専攻・知識] データ分析、統計解析、機械学習、プログラミング

短期インターンシップのテーマ例

- エンジニアリングコンサルタント職体験ワークショップ
[歓迎する専攻・知識] 全学部・学科を歓迎

と考えています。興味のある課題に本気で取り組むことで、得られるものはより多くなり、自身との適性も見極めやすくなるでしょう。そのために、多様なテーマを用意するだけでなく、本人の希望があれはできる限りカスタマイズして対応することもあります。昨年は数理最適化のテーマで「既存のシミュレーション・モデルの活用だけでなく、モデル自体を開発したい」と希望した学生にはさらに発展的な課題を設定し、取り組んでもらいました」

**働く環境を選ぶうえで大切な
会社風土や社員の人柄も実感**

KEのインターンシップでは、指導担当の所員に「インターン生は新人所員と同じように指導してほしい」と依頼しているという。それゆえ参加学生からは、「指導担当の所員が、知りたい情報以上の内容を丁寧に説明してくれた」、「学生扱いせずには本音でぶつかってくれた」といった声が上がっており、会社風土や所員の人柄を知る機会としても貴重な場となっているようだ。その他にも、「じっくり時間を取って自分で考える時間を貰えたのが良かった」、「自分なりのアプローチ手法を尊重してくれた」といった参加者の声もあり、同社に根付く仕事への取り組み姿勢や考え方を知れるという収穫もあったようだ。

「就職活動の終盤になると社風や社員の人柄で会社を選んだという学生が多くなりますが、早期の段階ではそういったポイントにピンとこない方も少ないかもしれません。とはいえ、一緒に働く人と肌が合うか、この会社で働きたいと思えるかは非常に

大事。当社では所員と交流できる場をできるだけ多く設けたいと考え、長期インターンでは懇親会、短期インターンでは所員との座談会も開催しています。普段社会人との接点が少ない理系学生はぜひこういった場を活用して、自分が大切にしたい価値観や考え方を見極めてはいかがでしょうか」

理系学生へのメッセージ

当社には、理系学生の知的好奇心をくすぐる魅力的なプロジェクトが数多くあり、専門性だけでなく研究のプロセスやアプローチ手法など、理系の素養を活かせる様々な仕事があることを多くの方に知ってほしいですね。長期インターンシップの応募条件については、比較的高度な専門知識やスキルが必要なテーマから、全理系学生歓迎のものまで多様なテーマを用意しているので、興味のあるものを探してみてください。短期インターンシップはどなたでもご参加いただけます。「いま学んでいることは、どのように社会で活きるのか」そんなことを考えている理系学生の応募をお待ちしています。



山崎 陽 (やまざき・よう)

株式会社構造計画研究所
リクルート室所属
東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 修士